

(様式1)

施設指定管理者モニタリングチェックシート

29年 4月～ 6月期

施設名	豊明市老人福祉センター
指定管理者名	シンコースポーツ株式会社 名古屋支店
指定期間	平成 27年 4月 1日 ～ 平成 31年 3月 31日
所管課	豊明市高齢者福祉課

区分	項目	指定管理者	指定管理者 備考	市	市 備考	
① 業務の履行確認	【施設全般の管理運営に関する業務】					
	条例施行規則に基づいた開館日・時間を遵守しているか	A		A		
	条例規則ほか各種規程を遵守のうえ、施設を供用しているか	A		A		
	人身体制が明確になっており、常に体制が整っているか	A		A		
	適切な有資格者を常に配置しているか	A		A		
	管理日誌等により、業務の記録をしているか	A		A		
	緊急事態発生時の対処マニュアルが整備されているか	A		A		
	【利用者に関する業務】					
	利用者数、稼働率等が著しく低下していないか	A		A		
	利用料金の設定、徴収、還付等手続は適切か	A		A		
	【保守点検並びに清楚業務等】					
	建物、機械等の点検・保守は定期的に行われているか	A		A		
	定期的に清掃、除草、剪定等が行われているか	A	4/24、5/22に剪定作業を実施。	A		
	異常、不具合等を発見した場合、速やかに市に報告しているか	A		A		
	利用者に対し、危険箇所の注意喚起を行っているか	A		A		
	破損箇所等が見つかった場合、適切に修繕等が行われているか	A	下記3点を実施。	A		
	修繕等の履歴を適切に管理しているか	A		A		
	備品は適切に管理しているか	A		A		
	消耗品等は適切に補充しているか	A		A		
	【事業の実施に関する業務】					
	指定事業は適切に実施されたか	A		A		
	自主事業は適切に実施されたか	A		A		
	【個人情報の取り扱い】					
	個人情報等の管理は適切に行われているか	A		A		
	【①に係る指定管理者の自己評価】 ・娯楽室カーテン取替え工事、陶芸会館釜修繕、浴室シャワー蛇口取替え修繕を行いました。					
	【①に係る施設所管課の評価】 適時の補修点検の継続をお願いします。施設の老朽化もあるかと思いますが、利用者の使用状況にもよります。利用者に適切な使用を促す働きかけをお願いしたいと思います。					
					区分評価	A

区分	項目	指定管理者	指定管理者備考	市	市備考	
② サービスの質の評価	窓口対応は適切に行われているか	A		A		
	アンケートを実施するなど、利用者の意見を聞いているか	A		A		
	苦情や要望等に対して迅速にかつ適切に対応しているか	A		A		
	事故等が発生した場合、速やかに市に報告しているか	A		A		
	施設の清掃業務や衛生管理は適正か	A		A		
	貸出備品等は良好に保たれているか	A		A		
	実施された自主事業等は満足できる内容であったか	A		A		
	【指定管理者が設定したサービス水準に関する事項】					
	マッサージ器(スカイウェル)の設置による利用者満足度の向上	A	継続利用者が数名存在。 昨年度利用比 約162%	A		
	浴室用物販の開始による利用者満足度の向上	A	定期購入者が数名存在。 昨年度比 約101%	A		
	HPIによる広報・PR活動により利用者の増加	A	昨年度比 約96.5%	A		
	【②に係る指定管理者の自己評価】 ・スカイウェルにおいて、前年度比約162%(4月度約126%、5月度約149%、6月度約220%)と昨年度からの利用増となりました。周知の結果、継続的な利用へとつながっています。 ・利用者数においては昨年度比96.5%となりましたが、原因として浴室の休止期間があったことに加え、編物講座の中止等があったためと考えられます。					
【②に係る施設所管課の評価】 今期は脱衣所の修繕のため浴室の休止や、趣味講座の休止などで全体の利用人数の減少が見られたかと思えます。新たな利用者の開拓を模索していただきたいと思います。					区分評価 A	
③ サービス提供の安定性の確認	事業収支は黒字になっているか	B		B		
	必要な帳簿は備えられているか	A		A		
	経理処理は適正に行われているか	A		A		
	収入増加のための取組がなされているか	A		A		
	管理経費縮減に関する取組がなされているか	A		A		
	団体の経営状況は健全で安定しているか	A		A		
	【③に係る指定管理者の自己評価】 ・有料サービスの利用者が目標に達しず、黒字収支とはなりませんでした。					
	【③に係る施設所管課の評価】 黒字収支は求めまておりませんが、収入増加への取組みなどがあまり感じられません。現状を維持していくのみでは、利用者へのサービス向上にはつながらない場合もあります。					区分評価 B

【項目評価】

- S (優良) : 協定書、仕様書等の基準を遵守し、その水準を上回っている。
- A (良好) : 協定書、仕様書等の基準を遵守し、その水準に概ね沿っている。
- B (課題あり) : 協定書、仕様書等を遵守しているが、内容の一部に課題がある。
- C (要改善) : 協定書、仕様書等が遵守されておらず、改善が必要である。

【区分評価】

- S (優良) : 項目評価が全てA以上、かつSが過半数以上。
- A (良好) : 項目評価が全てA以上。
- B (課題あり) : 項目評価にBがある。
- C (要改善) : 項目評価にCがある。